

基本目標 3 環境と共生して幸せを実感できるまち

政策 8 豊かでかけがえのない自然環境の形成

施策 20. 自然環境・景観の保全と活用

関連するSDGsのゴール

4 質の高い教育をみんなに



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



11 住み続けられるまちづくりを



14 海の豊かさを守ろう



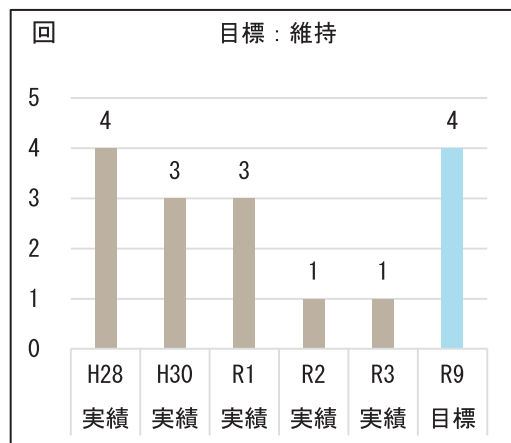
施策を取り巻く環境

- 世界的な自然災害の多発・甚大化など、気候変動を取り巻く状況は年々厳しさを増しており、持続可能な社会のために、わが国では 2050 年までにカーボンニュートラルを実現することを目指し、経済社会システム全体の変革、GX（グリーントランスフォーメーション）への取り組みが加速しています。
- 当町では町章が示す緑あふれる名久井岳と馬淵川、豊かな農産物の実りを町のシンボルとしてとらえています。
- 達者村事業の一環で、眺めることで心が癒され、達者（健康）になれるような優れた景観ポイントを「達者村百景」として選定し、町民に対してもPRしています。
- 自然環境・景観・歴史的資源に対する町民の意識高揚のための施策の充実に努めていくとともに、町民との協働により保全・活用していく必要があります。

前期計画の進捗

数値目標（ベンチマーク）と実績

1. 環境保全活動の実施回数



これまでの主な成果

- 海洋クラブマリンスポーツ体験会を実施することにより、水環境に対する意識や自然環境に対する意識の向上が図られました。
- ごみ焼却施設やごみ分別施設の社会科見学により、ごみ減量化や資源の再利用に対する子どもたちの意識啓発が図られました。
- 町内の巨木などを調査の上、「達者村巨木・巨樹・銘木めぐり」パンフレットを作製し、町の自然環境の魅力をPRしました。

後期基本計画の方針

- 本町の豊かな自然環境、優れた景観、歴史的資源を次の世代に伝えていくとともに、観光資源としての活用を図ります。
- 公共工事の実施に当たっては、自然環境との共生、景観の維持に配慮した資材や工法の導入を推進します。
- 自然環境・景観などの保全活動に対する町民の意識を高揚するため、SDGsやGXに関する考えの普及・啓発を推進、環境保全・景観形成団体の育成と支援に努めます。

住民や地域に期待する役割



住民・地域

- 自然環境・景観の保全に関心を持ち、意識を高める
- 日常生活の中で環境保全や省エネルギー化に努める
- ごみの分別減量化に努める

住民

住民

住民

主な取り組み

(1) 自然環境・景観・歴史的資源の保全・活用

- 環境保全の推進、自然環境や景観に配慮した資材や工法を導入した公共工事の推進、子どもから大人までの環境教育・環境学習体制を整備します。
- 世界的なSDGs、GXに関する広報啓発活動を推進します。

(2) 町民・環境保全団体との協働

- 広報活動により持続可能な社会づくりのための町民意識を醸成しながら、環境保全団体の活動を支援し、協働による自然環境・景観・歴史的資源の保全を推進します。



施策 21. 環境と共生する循環型社会づくり

関連するSDGsのゴール



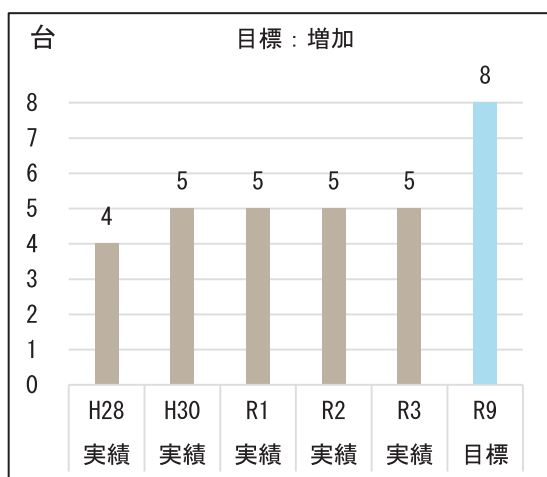
施策を取り巻く環境

- 地球環境にやさしく負荷の少ない循環型社会をつくるための各種施策を推進していくとともに、町民一人ひとりが環境に配慮した生活を送れるような体制づくりを進めていく必要があります。
- 家庭や事業所、公共施設での省エネルギーに対する取り組みやエネルギー効率の改善、公共施設や公用車などへのクリーンエネルギーの活用、様々な機会をとらえたエネルギー教育などを推進していく必要があります。
- 快適で潤いのある生活環境をつくるため、農林畜産業を含むすべての産業において、環境保全に配慮した施策を推進していく必要があります。

前期計画の進捗

数値目標（ベンチマーク）と実績

1. 公用車のうち低公害車の台数



これまでの主な成果

- 馬淵川水系における想定通報演習、オイルフェンス設置訓練を実施し、事故発生時の対応を確認しています。
- 南部町役場新庁舎に新たに太陽光パネルを導入したほか、公用車両の更新の際はより環境負荷が少ない車両への買い替えを進めています。

後期基本計画の方針

- 地球温暖化、異常気象などの環境問題に対応するため、町民、農林畜産業を含むすべての産業、行政が協働して、カーボンニュートラルなどの啓発活動の推進、クリーンエネルギーの導入促進、様々な機会をとらえたエネルギー教育の推進、河川などの環境監視体制の強化などに努めます。
- 農林業をはじめとするすべての産業において、環境保全に配慮した施策を推進し、快適で潤いのある生活環境の創造を目指します。

住民や地域に期待する役割



住民・地域

- 自然環境・景観の保全に関心をもち、意識を高める
- 日常生活の中で環境保全や省エネルギー化に努める
- ごみ排出量の縮減

住民

住民

住民

主な取り組み

(1) 資源循環型社会の構築

- 環境問題や3R（リデュース・リユース・リサイクル）に関する啓発活動、持続可能なクリーンエネルギーの有効活用に向け、まちぐるみの環境対策を推進します。

(2) エネルギーの有効活用

- 公共交通の利用促進、エコドライブの励行、公共施設での省エネルギー機器の利用、照明や空調の適正管理などの取り組みや、環境にやさしいクリーンエネルギーの導入を推進します。

(3) 環境監視体制の強化

- 馬淵川水系の水質汚濁に対する監視・調査体制の強化、水質改善に向けた啓発活動や各種施策を推進するとともに、各種産業活動に起因する騒音・悪臭・振動などに対する適切な指導を行い、未然防止に努めます。



政策 9 快適で住みやすい生活環境の形成

施策 22. 環境衛生対策の充実

関連するSDGsのゴール



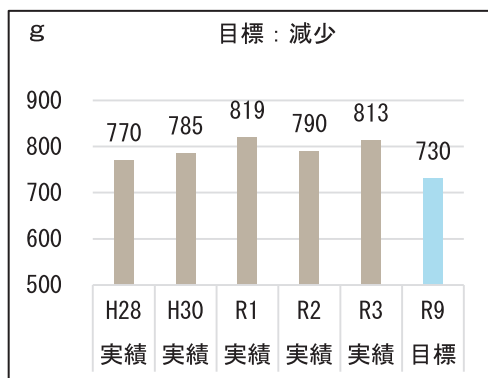
施策を取り巻く環境

- ごみの排出動向や一般廃棄物関連法・リサイクル関連法などを踏まえ、ごみの収集・処理体制の充実を図るとともに、町民や事業者の理解と協力を得て、さらなるごみの減量化やリサイクルの促進、不法投棄の防止などに一層取り組み、環境にやさしいごみゼロ社会を目指していく必要があります。
- し尿処理については、公共下水道事業や農業集落排水事業などによる下水道事業の整備状況を勘案しながら、広域的なし尿収集・処理体制の充実を図っていく必要があります。
- 火葬場については、広域的連携のもと、火葬場の適正な管理・運営を図っていく必要があります。

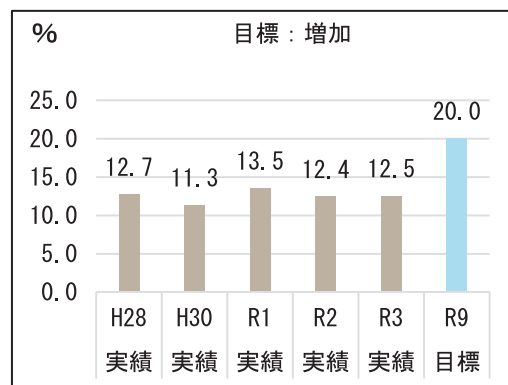
前期計画の進捗

数値目標（ベンチマークと実績）

1. 1人1日あたりのごみ排出量



2. 一般廃棄物のリサイクル率



これまでの主な成果

- 不法投棄監視員による町内の巡視や監視カメラを導入することにより、不法投棄が減少しています。
- ごみ、し尿の収集・処理体制や火葬場の適正管理については、一部事務組合との連携により、適正な管理・運営が図られています。

後期基本計画の方針

- ごみの適正な収集・処理に向け、分別排出の定着化を推進していくとともに、広域的なごみ減量化・リサイクル体制の充実を図ります。
- 環境美化運動を通じて町民の環境保全意識の高揚に努めるとともに、町民の協力を得ながら監視体制の強化を図り、ごみの不法投棄の防止に努めます。
- 広域的なし尿収集・処理体制の充実に努めるほか、広域的連携のもと、火葬場の適正管理に努めます。

住民や地域に期待する役割



住民・地域

- 自然環境・景観の保全に関心をもち、意識を高める
- 日常生活の中で環境保全や省エネルギー化に努める
- ごみ排出量の縮減

住民
住民
住民

主な取り組み

(1) ごみ収集・処理体制の充実

- 広域的連携のもと、ごみの収集・処理体制の整備、処理施設などの管理・運営に努めるとともに、事業所や家庭からのごみの出し方や分別排出の徹底を促します。

(2) ごみ減量化・リサイクルの促進

- ごみの減量化や3Rに対する企業や町民の意識高揚を図り、自主的な活動を促すとともに、ごみ減量化の実現に努めます。

(3) ごみの不法投棄防止施策の推進

- 廃棄物不法投棄監視員によるパトロールや監視カメラの導入などにより監視体制を強化し、不法投棄の防止に努めます。

(4) し尿収集・処理体制の充実

- 広域的連携のもと、し尿収集・処理体制の整備、処理施設などの適正な管理・運営に努めます。

(5) 火葬場の整備・適正管理

- 広域的連携のもと、火葬場の適正な管理・運営に努めます。

(6) ペット糞害の防止施策の推進

- 飼い主の公共マナーの意識の高揚を図り、糞害などの防止に努めます。

施策 23. 上水道・下水道の維持

関連するSDGsのゴール



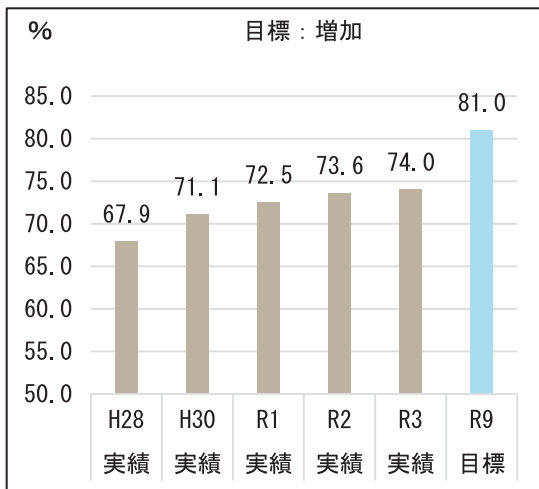
施策を取り巻く環境

- 本町では、八戸圏域水道企業団の上水道事業により安全で安定した水の供給に努めています。
- 施設の老朽化への対応、災害などに強いライフラインとしての整備、ライフスタイルの変化に伴う水需要増大への対応などが課題となっています。
- 生活雑排水などの汚水処理については、公共下水道事業、農業集落排水事業および団地排水事業、合併処理浄化槽設置補助事業により推進していますが、厳しい財政状況のもと、全体的に整備が遅れています。
- 循環型のクリーンなまちづくりに欠かすことのできない下水道などの整備を、地域に適した処理方法により、計画的・効果的に推進していく必要があります。

前期計画の進捗

数値目標（ベンチマーク）と実績

1. 汚水処理人口普及率



これまでの主な成果

- 八戸圏域水道企業団と連携することで、安全で安定した水の供給および安全な水源の確保ができました。
- 公共下水道整備事業を実施し、下水処理区域が広がりました。
- 老朽化した下水道関係施設の広域化・共同化を検討し、長期計画に組み入れました。
- 補助金交付により、合併処理浄化槽設置の促進を図りました。

後期基本計画の方針

- 上水道については、広域的連携のもと、安全で安定した水の供給、安全な水源の確保、水道施設の計画的な整備・充実に努めるとともに、「水は大切な資源」という意識啓発活動を展開し、節水型のまちづくりを推進します。
- 污水处理については、水環境の保全や水の循環利用などの啓発活動の展開に合わせ、公共下水道事業などの計画的な整備、合併処理浄化槽の設置などによる全町水洗化の実現に努めます。

住民や地域に期待する役割



住民・地域

- 下水道事業への加入・接続推進 ☐ 住民
- 使用料の期限内の納入 ☐ 住民

主な取り組み

(1) 節水型まちづくりの推進

- 広報・啓発活動などを通じて、「水は大切な資源」という町民の節水意識の高揚を図るとともに、水道事業に対する町民の理解と協力を促すなど、節水型まちづくりに向けた施策の展開を図ります。

(2) 計画的・効果的な污水处理施設の整備

- 公共下水道事業や農業集落排水事業などの下水道事業を活用して、地域に適した手法により、計画的・効果的な污水处理施設の整備を推進します。

(3) 合併処理浄化槽の設置促進

- 公共下水道事業や農業集落排水事業などの計画区域以外の地域では、引き続き設置者への補助金交付により合併処理浄化槽の設置を促進します。

(4) 下水道施設の維持管理と加入・普及の推進

- 供用開始後の下水道施設については適正な維持管理を行うとともに、下水道事業への加入を促進するとともに、町の助成制度などについて積極的にPRし、加入促進を図ります。
- 下水道施設のストックマネジメント計画*による点検・調査を実施し、老朽化した施設の更新・統廃合を検討し合理化を図ります。

(5) 環境保全に対する町民意識の高揚

- 家庭などの生活雑排水が水路・河川に流入して環境を悪化させること、下水道処理施設が環境保全に重要な役割を果たしていることなどを広報・啓発活動によりPRし、町民一人ひとりの環境保全に対する意識高揚を図ります。

※ストックマネジメント計画：長期的な視点で下水道施設全体の老朽化の進展状況を考慮し、施設管理を最適化することを目的とした計画。

施策 24. 公園・緑地の形成

関連するSDGsのゴール



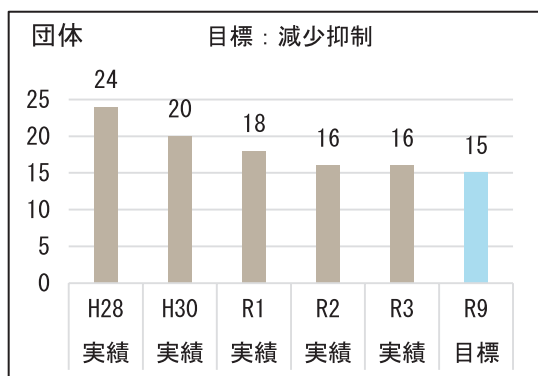
施策を取り巻く環境

- 本町には、名久井岳と馬淵川に代表される豊かな自然環境、南部藩発祥の地に代表される歴史遺産や地域でいにしえから培ってきた優れた景観があり、自然の緑や水に親しむ場も数多くあります。
- 今後は、町民ニーズを踏まえ、町民との協働により、身近な公園や広場、南部氏関連城館などの歴史資源を活用した個性あふれる交流空間などを維持管理していく必要があります。
- 学校・道路などの公共施設の計画的な植樹・植栽の推進、全町的な緑化運動・花いっぱい運動の支援などを進めていくとともに、町民・行政・ボランティア団体などが一体となった適切な維持管理を進めていく必要があります。

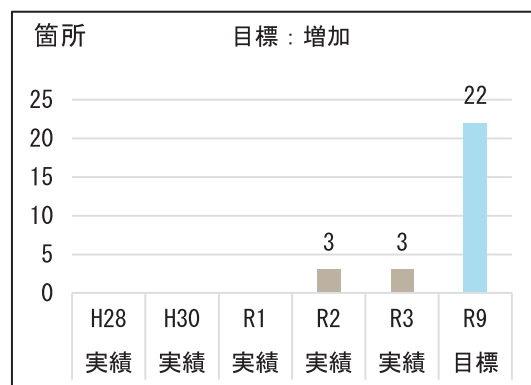
前期計画の進捗

数値目標（ベンチマーク）と実績

1. 達者村花壇コンクール参加団体数



2. ポケットパーク数



これまでの主な成果

- 緑の羽募金を実施し、花苗の提供など環境美化活動を推進しました。
- 公園の環境美化により、緑化空間を確保しました。
- ポケットパークの整備により、町民が憩える空間を確保しました。
- 達者村花壇コンクールを実施し、町内の景観の向上を図っています。

後期基本計画の方針

- 公園・緑地・水辺については、町民との協働により、既存施設の適正な維持管理・計画的な整備に努めるとともに、歴史資源を活用した個性あふれる交流空間の創出などに努めます。
- 学校・道路などの公共施設において計画的な植樹・植栽を推進するとともに、町民・事業者の緑化運動・花いっぱい運動を支援します。

住民や地域に期待する役割



住民・地域

- 公園・緑地・水辺の利用 住民
- 地域主体での維持管理 地域

主な取り組み

(1) 公園の維持管理

- 既存の公園・緑地については、施設・設備の定期的な点検・更新および草木の適正な維持管理を行い利用者の安全確保を図るとともに、景観の向上を促進します。
- 緑豊かで、安全に水に親しめる潤い空間の創出のため、自然環境の保全に留意しながら、馬淵川やその他の河川、水路などを活用した特色ある親水公園・水辺の維持管理を推進します。

(2) 特色ある公園の整備

- 南部氏関連城館をはじめとする様々な歴史資源を活用し、特色ある交流空間の整備を推進します。
- 町民や関係団体などの参画により、地域コミュニティの場として、子供や高齢者も気軽に安心して利用できるポケットパークの整備を進めます。

(3) 緑化の推進

- 学校・道路などをはじめとする公共施設において、計画的な植樹・植栽を推進するとともに、町民・事業者の理解・協力のもと、事業所・住宅地などの民有地の緑化運動を進めます。

政策 10 適正な土地利用の推進

施策 25. 計画的な土地利用の推進

関連するSDGsのゴール



施策を取り巻く環境

- 本町では、土地利用関連計画に基づき、計画的な土地利用を進めていますが、社会・経済情勢の変化や人口の減少などに伴い、住宅地における空き家・空き地の増加、耕作放棄地の増加による農業生産環境の悪化をはじめとする様々な課題も生じています。
- 町の9割近くを占める山林については、管理の行き届かない箇所増加や太陽光発電開発による大規模な林地開発の進行など、自然環境保全への危機意識が高まっている状況にあります。
- 良好な住宅・宅地の整備による住環境の形成、総合的な道路・交通ネットワークの形成などを進め、交流・定住人口の増加、適正な産業開発、生活利便性の向上などを目指した土地利用を進めていく必要があります。

これまでの主な成果

- 土地利用関連計画に基づいた適正な土地利用を促進することにより、無秩序な開発行為の防止が図られました。
- 農村整備事業によるほ場整備や県営中山間地域総合整備事業の活用などにより、農業生産基盤や農村生活環境の総合的整備が図られました。
- 農業・農村の将来像を見据え、今後の本町の農業振興を計画的に推進していくため、農村振興基本計画策定委員会を設置し、新たな計画の策定を進めています。

後期基本計画の方針

- 土地利用関連計画や関連法、条例などの周知徹底、これらの計画などに基づいた適正な規制・誘導、無秩序な開発行為の未然防止などに努めるとともに、自然環境と町民生活・生産活動が調和する良好な環境を形成し、適正な土地利用を推進します。
- 有効的な土地利用の推進および公平な課税のため、適正な地籍情報の管理を行います。

住民や地域に期待する役割



住民・地域

- 法令を遵守し秩序ある開発と土地の利用・管理 地域

主な取り組み

(1) 適正な土地利用の推進

- 適正な土地利用を推進するため、関連法、条例などの周知徹底をするとともに、住宅地・農地・林地による適正な規制・誘導、無秩序な開発行為の未然防止などに努めます。

(2) 地籍情報の適正な管理

- 地籍情報の適正な更新・管理を推進し、その情報を有効に活用していきます。
- 空き家の実態調査を行い、現状を把握したうえで、適正な管理を促すほか、空き地についても住宅地、農地、林地における遊休地の解消に向けて啓発活動を進めます。
- 各部門ごとに管理している土地の情報について、総合型GISの導入可能性について検討します。



施策 26. まちを形成する骨格の形成

関連するSDGsのゴール



施策を取り巻く環境

- 土地利用関連計画に基づき、広域的・長期的な視点に立った町全域の均衡ある発展のため、町域を、市街地整備ゾーン、農業・農村交流定住ゾーン、森林保全・活用ゾーン、工業団地ゾーンの4つのゾーンに分け、計画的かつ調和のとれた土地利用を推進していくことが必要です。

これまでの主な成果

- 土地利用関連計画に基づいた、土地利用の推進により、適正な町土利用が図られています。

後期基本計画の方針

- 自然環境を保全しながら、土地利用を推進するため、市街地整備ゾーン、農業・農村交流定住ゾーン、森林保全・活用ゾーン、工業団地ゾーンの4つのゾーンに町域を区分し、適正・合理的な土地利用を推進します。

住民や地域に期待する役割



住民・地域

- 環境にやさしい住宅などの建設と良好な周辺環境の保全に努める
- 住宅などの適切な維持管理

主な取り組み

(1) 市街地整備ゾーン

- 文化、教育、商業などの施設や住宅が集積する市街地は、地域の核として、まちの機能や交流機能などを維持・確保し、賑わいの創出に努めるとともに、市街地に連担する機能集積や沿道などの商業地は、良質な住宅開発や近隣型商業施設の誘導などと合わせ、良好な住宅環境の創出に努めます。

(2) 農業・農村交流定住ゾーン

- 平坦地・丘陵地・山間平坦地のまとまりのある優良農地については、果樹、園芸、施設農業などの振興に努めるとともに、長期的活用を図るための基盤整備などを進め、農産物の供給機能をさらに高めます。そして、食と農の学習機能などの導入により、交流の活性化を図ります。
- 農業環境と共存する集落形態を有する地区は、生活道路や集会施設、上下水道施設などを計画的に整備し、自然と共生する農村定住地区として、良好な居住環境の形成に努めます。

(3) 森林保全・活用ゾーン

- 森林は、その保全・育成、貴重な生態系の保護に努めるとともに、林道・作業道などの林業基盤の計画的な整備に努めます。
- 自然環境と調和した観光・レクリエーション施設や公園、遊歩道などの維持管理を計画的に推進し、自然を活用したレクリエーション・森林体験学習などの促進と特用林産物を活かした地域の活性化を図ります。

(4) 工業団地ゾーン

- 既存の工業団地地区は、適正な維持管理をするとともに既存立地企業への支援などに努めます。

